

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 元 年度

市町村名	北本市		
提案事業名	北本農業の価値向上推進事業		
事業期間	令和元 年度	～	令和2 年度
事業の必要性、目的	<p>農業者の減少や高齢化に伴い、地域農業の担い手不足を招き、市内の生産力が低下するおそれがある。また、地産地消の推進は現在安定しているものの、市外での知名度は乏しく、魅力ある地域製品の創出拡大が図れていない。そこで、市内農産物等の地域資源を活用した地域ブランドを創出し、販路を拡大することで知名度向上を図り、付加価値の高い農業を推進する。さらに、北本ブランド創出に取り組む市内農業者へのサポート体制を構築する北本市認定農業者協議会へ支援を行う。</p>		
成果指標	(成果を検証する指標)		
	地場物産館桜国屋の売上額		
	(成果検証の具体的な方法)		
	毎年集計している地場物産館桜国屋の売上額の増減をみて、事業効果の検証を行う。		
	(上記の指標を設定した理由)		
	本市総合振興計画の付加価値の高い農業の推進の指標として「地場物産館桜国屋の売上額」を設定している。		
	(成果の目標値)		
現状値 (H31年3月現在)	293,099,565	目標値 (R3年3月時点)	320,000,000
(施設建設等の場合)			
年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	市広報紙、リーフレット		

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 北本ブランド創出事業	ハードソフト間接補 地域の特徴ある農産物等の価値を高め、農業の魅力を広く発信することで、付加価値の高い農業の推進を図り、地場物産館桜国屋の売上額増加を狙う。	3,600
② 認定農業者支援事業	ハードソフト間接補 北本市認定農業者協議会によるサポート体制を構築することで、北本ブランド創出事業との相乗効果を発揮するとともに、北本農業の生産力を促進し、地場物産館桜国屋の売上額増加を狙う。	300 (補助額)
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
⑥	ハードソフト間接補	
合計		3,900

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	上記①～②の構成事業を着実に実施するほか、他の関連する施策と連携しながら取り組むことで更なる相乗効果を期待できる。
成果指標の達成見込み	地域の魅力ある農産物等に付加価値を創出することで、需要の増加及び生産力の向上が期待され、地場物産館桜国屋の売上額増に繋がると見込んでいる。